

# 決算審査

第3回定例会は「決算議会」と呼ばれる。審査はまず監査委員が7月18日～25日に行われたあと、意見書にまとめられ村長に提出。村長は本議会に意見書と主要成果説明書等を提出しなければならない。昨年は不認定となった一般会計予算。本年度は、付託された関係常任委員会で全ての会計決算(令和5年度)を慎重に審査し、最終日、全員賛成で認定した。

## ◎村の財政運営適否の総合判断指標等

3つの視点と考え方	判断指数等	令和5年村の指数(前年)
計画性があるか	実質収支比率 3～5%が望ましい	8.6% (13.6%) 規模に対しまだ高い数値
弾力性があるか	経常収支比率 75%以下が望ましい	95.4% (94.9%) -0.5
弾力性があるか	実質公債費比率(3年平均) 25%以下	12.7% (11.5%) -1.2

### 【監査委員意見書抜粋】

代表監査委員 吉里 啓文  
議選監査委員 橋本 功



- ・行政事務 計数等に誤りはなく関係諸表も整理され会計処理は正確であると認めた。

各種団体等への補助金で補助金額以上の額が次年度へ繰越されている事例があった。再度交付に関し検証が必要と思える。村民の信頼を失うことがないように指摘しておきたい。各分野へのきめ細やかな種々の施策が着実に執行されていることは、当然とはいえ高く評価に値するものと言える。

- ・財政状況は、財政の弾力性を示す経常収支比率は95.4%と昨年度に比べ0.5ポイント上昇した。標準値は75%以下が望ましいとされている。厳しい財政状況であることから、経常経費の見直しと削減に取り組む必要があると考える。本村経済の落ち込みは相当なものがあり、村は住民の方たちが安心して生活再建への道筋が立てられるよう施策をお願いする。

### 【最終日の決算議論 「審査は重要 毎年同じ指摘！改善は？」】

#### ◎認定第1号 令和5年度一般会計決算の認定「監査委員指摘への対応は？」

**質疑** 河内克也議員／補助金に関し毎年同じ指摘を受けている。行政を補完する各補助金は重要だが、公平性が保たれていない。決算の意義(指摘を改善し財政運営、予算編成に生かす事)を認識し改善策を！

**応答** 総務課長／当初予算の査定で、見直し・指導は行っている。今後は指摘を受けないよう、公平性を保つために、補助金交付要綱を整備していく。